

一般質問通告書(平成 22 年 12 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p><b>1 2番 村上 和子</b> 1 見晴台公園の改修計画については周辺住民の合意を得たものに計画修正すべきでは (町 長)</p>	<p>見晴台公園の改修計画については、周辺住民の強い反対・意見等あり、これらを見做して改修計画を進める訳にはいかないのでは。最終的には、合意を得た範囲内の修正計画にならざるを得ないのでは。町長の見解をお伺いします。</p>
<p>2 個人住宅のリフォームに対し助成等を考えられないか。町の雇用・経済活性化につながるのでは。 (町 長)</p>	<p>公共事業の減少により、地元土木建設業者も大変厳しい状況にあり、一方町民の生活の面でも、バリアフリーやエコ対策等、リフォームを手がけたい時に助成等があればやり易く、住居の営繕等地元で密着した事業者は欠かせない要素である。100万円以上のリフォーム1件につき20万円の助成事業を考えてはどうか。以前にも2回ほど質問をしているが、町民の要望等調査し、そういう高まりがあれば検討したいということであったが、雇用や地域の経済活性化にもなると考えるがいかがか。</p>
<p>3 林業活性化へ林道整備を (町 長)</p>	<p>農林水産省は森林で伐採するための作業用道路の整備に、林業従事者による道路整備の際に費用の一部を補助する制度が導入され、来年度補助額550億の予算が見込まれることになった。上富良野町も山間地帯の作業道路はあるが、大型トラック等入って行けない。今ある道路を生かしながら未整備の所も多いので、この交付金を活用して、林道整備をしてはどうか。</p>
<p>4 学校図書の実質について (教育長)</p>	<p>子供達の活字離れが昨今話題となっておりますが、先日の上富良野小学校だよりでは、毎週水曜日の朝を全校一斉「朝図書の日」に充てたり、図書室に入った新刊図書について紹介したり、図書に親しむ機会づくりに取り組んでおられますが、上小については8211冊・充足率は89.64%、江幌小学校は2522冊・充足率71.65%、東中小3460冊・充足率98%。この三校については、平成22年1月現在100%未満である。逆に充足率の高い西小は7076冊・充足率は139.29%など格差があり、充足率の低い江幌小等100%未満の学校の充足についてはどのように考えておられるのか。</p>
<p><b>2 6番 今村 辰義</b> 1 中山間地域等直接支払制度への加入意義は (町 長)</p>	<p>現在、町は中山間地域の測量を実施しつつ、中山間地域等直接支払制度に加入する準備を進めています。農林水産省の資料によりますと、国にとって中山間地域等の農業・農村は、水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能によって、下流部の都市住民を含む多くの国民の生命・財産と豊かな暮らしを守る役割を果たしているとあります。中山間地域の果たしている役割は素晴らしいと思います。そこでお伺いしますが、</p>

	<p>この中山間地域等直接支払制度への加入は、「町にとってどのような意義があるのか、特に加入することによって町の農業の活性化にどのようにつながっていくのか」そして「この制度の上富良野町(案)の特徴など」について、町長にお伺いいたします。</p>
<p>2 農業被害における種子代の助成は (町長)</p>	<p>第3回定例会における、私の「異常気象による農業被害の救済を」と題する一般質問の中で、「昨年・今年と続いた異常気象による被害は、2倍ということではなく相乗的に重なってきている」旨の発言をされました。そして、その現実認識の下に、国や道に対する要望あるいは、関係機関と連携し、無利子の融資(利子補給)や小規模土地改良事業に取り組みましたことに対して心強いと思料しています。</p> <p>そこで同じく私の一般質問の中で、「燃料・肥料が高騰している、経費補償はできないか」と言う主旨の質問に対して、町長は「町で対応できることとしては、種子代の助成だとか、そういったことは対応可能かなと思うが、直接的なコストについての応援は大変難しいかなと理解している。」とお答えになっています。</p> <p>そこで、答弁いただいた「対応可能かなと思っている種子代の助成」についての、その取り組み方について町長の考えをお伺いいたします。</p>
<p>3 10番 和田 昭彦 1 観光の振興について (町長)</p>	<p>平成20年、国は観光立国を目指して、観光庁を発足させ閉塞する日本経済の中にあって観光産業は成長産業と位置付けてその振興に力を入れています。そして、国土交通省試算によると観光交流人口増大による経済効果は、定住人口1人の減少に対して、外国人旅行者で5人、国内の宿泊旅行者で24人、日帰り旅行者で76人に相当すると言っています。上富良野町でも平成21年より第5次総合計画がスタートし、今年かみふらの景観づくり条例が全面改正され、さらに景観行政団体に指定されることとなりました。</p> <p>人口減少が避けられない上富良野では町の活性化のために観光の振興に積極的に取り組むべきだと考えます。山が一直線に並んだ十勝岳連峰の景観の美しさは北海道のどこにもなく、富良野沿線で眺める十勝岳連峰の景観は、言うまでもなく上富良野からの眺めが1番です。しかし、これまでこの観光資源・財産を十分生かして来たとは言えないと思います。富良野・美瑛の字が躍る旅行雑誌やポスターなどの見出しに上富良野の名前は出てきません。</p> <p>この度、「冬の食と温泉体験観光発信事業」に取り組むことになりましたが、本来こういうことはもっともっと早い時期から取り組んでいなければならないことで、これまでの消極的な観光行政が近隣市町村から取り残されることとなったと思います。宿泊旅行者の経済効果は大きく、これから滞在型の観光を目指すために町はどの様なビジョンを持っているのかお聞きしたい。</p>

<p>2 文化施設の整備について (教育長)</p>	<p>これまで、町の社会教育はどちらかというと体育に重点をおかれて来ました。このことによって体育施設は充実し、町民の健康増進に大きく寄与してきました。しかし一方で文化施設の整備が取り残されて来ました。体育施設が整った現在これからは、文化施設の充実に努めるべきであると考えます。</p> <p>一昨年、上富良野中学校時代の恩師が亡くなられ、80数点の絵画が遺されていました。昨年「回顧展」を開催したところ多くの方々が鑑賞に来て下さいました。これらの作品の一部は絵画愛好会の仲間だった人たちや、教え子たちが預かっているのですが、残りの作品50点余りが現在上富良野中学校に保管してもらっています。</p> <p>また、この2年間の間に大角伊佐雄さん、福田基久さんが亡くなられ、お二人も町にとって貴重な作品を遺しています。これらの町の文化的な財産といってもいい作品が、このままの状態にしておくならば散逸してしまいやがては消滅してしまいます。</p> <p>このようにアマチュア画家たちの遺した優れた作品を未永く残すために「アマチュア郷土美術館」(仮称)を作ってはどうか。もちろん新しい施設ができれば良いのですが、財政事情が許すまで廃校舎とか空き教室、空家、空き店舗などを利用すれば少ない予算で作ることが出来ると思うがどうか。</p>
<p>4 5番 米沢 義英 1 公営住宅維持管理について (町長)</p>	<p>公営住宅の立て替えに対して入居者の方からは次のような声が聞かれています。高齢なのでいまさら移転は大変、一部改修で十分あるいは全面改築を望む声、改築をしても家賃が上がるのでは困る、さらに高齢化に対応できる地域ディーサービスの複合施設の併設を望む声など様々な声があり、立て替えにおいては入居者の意見をしっかり聞き、立て替えの判断をすべきだと思えるが、次の項目について伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、立て替えに向けての住民説明会について。</li> <li>2、立て替えが予定されている西町・扇町・泉町南団地の入居者へのアンケートが実施されているが、寄せられた回答の中に、修繕だけを望む人や立て替えを望む人、立て替え後の家賃に対する不安な声など、様々な意見要望が記載されていると考えられるが、アンケート結果の公表とその内容について伺いたい。</li> <li>3、家賃の軽減対策について</li> <li>4、高齢化に対応できる地域ディーサービスの複合施設の考えについて</li> <li>5、現在の公営住宅の環境改善を進めるためには、修繕などの維持管理費の増額が必要と思えるが</li> </ol>
<p>2 介護施設について (町長)</p>	<p>高齢化が進むにつれて、高齢者や1人暮らしの高齢者等の増加が予想され、在宅介護の重視と合わせて特別養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設等の確保や充足が必要と思えるが、今後の対応について伺いたい。</p>

<p>3 地域包括支援センターについて (町 長)</p>	<p>地域包括支援センターは、ケアマネジャー・高齢者・障害者などに対する様々な支援と権利を擁護する大切な役割を担っているが、今後介護利用者などにきめ細やかな指導助言が提供されるためには、社会福祉士の配置が必要と考えるが。</p>
<p>4 日中一時支援について (町 長)</p>	<p>町の日中一時支援指定業者に支払う算定額は、富良野市・中富良野町・美瑛町と比較すると算定額が低いと感じるが今後の対応について伺いたい。</p>
<p>5 住宅のリフォーム助成について (町 長)</p>	<p>地域の景気に大きな刺激になることから、自宅の改修に補助金を出す住宅リフォーム助成制度を実施する自治体も増えており、町においても検討を要する時期にあると考えますが、対応について伺いたい。</p>
<p>6 子どもの医療費無料化枠拡大について (町 長)</p>	<p>子どもの医療費無料化枠の拡大が広がりを見せていますが、どのように検討されているのか伺いたい。</p>
<p>7 信号機の設置について (町 長)</p>	<p>道々吹上線は交通量も多く児童にとっては非常に横断しづらい場所で、道々吹上線と東1線の交差点に手押し信号機の設置を望む声が聞かれますが、対応について伺いたい。</p>
<p>8 小中学校の耐震診断後の対応について (教育長)</p>	<p>各小中学校の耐震診断が終了し、各校舎・体育館の改築及び補強など、今後の対応について伺いたい。</p>

<p>5 7番 一色 美秀</p> <p>新年度に予算編成に向けて2項目の助成事業について基金より予算の編成をすべきと考えるかどうか</p> <p>(町長) (教育長)</p>	<p>1、中小企業振興策</p> <p>店舗の新築、増改築、又は、空き地や空き店舗を利用して事業を起こす個人や団体、会社に対し資金の助成を行い、商店街の活性化と空洞化防止する。そのためかかる費用の最大50%を補助、上限を300万円以内にし、その工事は地元の建設業者を利用することを条件とするもの。</p> <p>2、教育振興策</p> <p>(1) 学校体育・文化活動参加経費負担金の見直しについて</p> <p>現在助成対象金額の70%以内となっているが100%にならないか。たとえば、上富良野中学校陸上部の駅伝全国大会が山口県で行われ、部員17名で参加する。助成対象者は選手9名と引率の先生3名で、主に交通費と宿泊費で、約130万円です。しかし実際に助成されるのはその70%約92万円です。児童生徒負担金は1人当たり38,000円です。この中には兄弟で参加する児童もあり大きな負担をかけています。100%助成であれば、児童の負担金は約1万円になります。来年度に向けての予算編成について充分考慮して次代を担う子どもたちにあまり負担をかけないように検討・改善をすべきと考えるかどうか。</p> <p>(2) 上富良野高等学校教育振興事業補助について</p> <p>上富良野高校吹奏楽部の規模拡大のため、楽器の整備と指導者の確保をすべきと思うかどうか。</p> <p>保育所・幼稚園・小・中学校と楽器に馴染んできた子どもたちが上富良野中学校で花開き、4年連続全国大会出場という金字塔を立てています。せっかく育った芽も、地元の高校では受け皿があっても楽器の整備がされていないため、旭川など地方に分散されています。上富良野高校で活動できる場を整備し、しいては、上高存続のためにも大きな投資は決してムダにはならないと思うが、いかがか。</p>
<p>6 9番 中村 有秀</p> <p>1 道々291号吹上・上富良野線の街路灯増設と、道路案内・指示標識の改善について</p> <p>(町長)</p>	<p>1、道々291号吹上・上富良野線は上富良野市街地を走る幹線であるが、街路灯の設置数が非常に少なく暗く、中町(吉谷生花店)から本町~宮町~旭町~新町~東町(セブンイレブン東町店)の道筋にある商業の店内照明・広告照明・ネオンサイン等が点灯している時は、その周辺はまだ良いが、午後9時・午後10時に商業施設が消灯すると、いよいよ暗く、歩行者は不安な気持ちで歩いております。</p> <p>特に商業施設が周辺にない地域は日没と共にそのような状況になり、事故、災害等も懸念されます。長年にわたって、本町・宮町・旭町・新町の町内会や住民会から増設要望が出ており、また11月9日開催の第1回議会報告懇談会でも強く要望されました。</p>

	<p>道々なので北海道への増設要望はどのようにされ、その際の道の回答について伺うと共に、今後の積極的な増設運動を展開すべきではないか町長の所見を伺う。</p> <p>2、道々291号吹上・上富良野線の道路沿いにある道と町が設置した道路案内・支持標識及び支柱が錆や腐食が進んで状況が数箇所に見られます。「四季彩のまち」そして「日の出公園や十勝岳への観光道路」にあるので、早急に関係機関と協議として改善措置について伺う。</p>
<p>2 上富良野高等学校第2グラウンド（南グラウンド）の環境整備と活用促進策及び、空教職員住宅の活用について (町長)</p>	<p>1、上富良野高等学校第2グラウンド（南グラウンド）は、昭和51年4月に道立移管する整備条件として、町が用地購入し自衛隊第308地区施設隊によって昭和50年10月に完成された。以来、バックネット・運動部室・スコアボードの設置と整備され、野球部が中心に一時期使用された。昭和59年には第1回町民運動会で利用されたり、丘町住民会のソフトボール練習や各種行事にも使われて来た。その後、第2グラウンドとして使用されなくなり、町の排雪雪捨て場として一時使用し、現在は工事残土置き場となっている。現在の第2グラウンドは、工事残土を含めて雑草が繁茂し、バックネットや運動部室は廃屋状況でスコアボードは朽ち果て、荒れ放題で最悪の環境にあります。地域の丘町住民会からは、住宅街の中で環境的にも悪いので早期整備と願っています。昨年の秋に若干整備されたと聞きましたが、状況は変わっておりません。上富良野高校に整備促進について要望していると平成21年第3回定例会にて町長・教育委員会教育振興課長は答弁されているが、このまま放置する状況にはなりません。上富良野高校には当然強く申し込みをしなければなりません。北海道教育委員会に適切な整備と管理及び活用促進を求めていく必要と判断されます。そのような状況から、昨年の秋からの取り組み状況と見解を伺います。</p> <p>2、上富良野高等学校の教職員は17戸ありますが、その入居率は平成10年3月4日で8戸入居され、その入居率は47.1%にあります。それぞれ教職員の事情はあると思いますが、特に丘町の教住は3棟8戸あるが入居3戸で入居率は37.5%の低入居率です。</p> <p>道有財産の有効活用と維持費軽減の見地から、道から払い下げ譲渡を受けて移住・定住用の住宅へ転用が考えられるが、その考え方はあるか町長の所見を伺う。</p>
<p>3 上富良野中学校屋外グラウンドの整備について (教育長)</p>	<p>1、上富良野中学校の陸上部・野球部・吹奏楽部の活躍はめざましく、町民に明るい話題を提供されると共に、今後の活躍を町民が大きな期待をしております。</p> <p>上富良野中学校屋外グラウンドの整備は、昭和59年から、昭和62年に施行されて以来37年が経過しております。グラウンドの土は長年の風雨により表土は流され、飛ばされて少なくなり、芝生との段差が大きくなり雨天時のグラウンドの水捌けは非常に悪い状況になってきております。</p> <p>上富良野小学校・西小学校のグラウンドは町内の土建業者さんの好意あるボランティア活動により整備が本年行われて、学校・利用する児童達から大変喜ばれております。</p>

<p>3 上富良野中学校屋外グラウンドの整備について (教育長)</p>	<p>上富良野中学校グラウンドは授業に部活動にと利用する頻度が高い状況にありますので、その整備について学校長及び部活動指導の先生方からの要望がありますので、頑張っている上富良野中学校の生徒と、これから入学してくる児童生徒のために早急な整備について教育長の所見を伺います。</p> <p>2、上富良野中学校陸上部の活躍は日頃の練習と先生方の熱き指導の結果であります。現在、中長距離陣の活躍が目ざましいですが、短距離強化にも力を入れていると聞いております。各種大会はタータントラックが主流なので、練習時からそれに慣れる必要があります、それによる走法にも大きな違いがあります。地域での上富良野中学校部活動後援会の支援も大きな力になっておりますが、練習環境面での支援策として、タータンによる1コースまたは2コース(幅1m15cm、長さ130m)の設置について、特段の配慮ある整備について伺います。</p>
<p>7 3番 岩田 浩志 1 町民との町政懇談会について (町長)</p>	<p>以前は、わが町でも地域別町政懇談会が行われていましたが、10年程前より行われていない。現在は、住民会連合会との懇談会は行われているが、自治基本条例の精神からすると、広く町民の意見を聞くということを考えれば、地域別の町政懇談会の開催は、とても重要なことだと考えますが、町長の見解を伺いたい。</p>
<p>2 町民意見公募(パブリックコメント)について (町長)</p>	<p>現在、町では事業によって意見公募を行っているが、町民からは非常に少ないご意見しか寄せられておらず、制度が機能していないように思われます。町として意見がないことは町民が理解し納得していると受け止めておられるのか。現状を踏まえ町長はどのようなお考えなのか伺いたい。</p>
<p>3 地域担当職員制度について (町長)</p>	<p>地域のことは、自ら地域で決める「地域主権型社会」の実現に向け地域住民が協力し合い、身近な問題を解決したり、活性化を図る力である「地域力」を高めるためにも、町と町民との協働のまちづくりの一つの方法として職員が地域に出向く地域担当職員制度は、町民にもわかりやすく、これまでにはなかった町民と職員とのコミュニケーションが図られるため、町民にとって行政が身近に感じられると考える。地域担当職員制度の導入については、これまでも各議員からも提案がありましたが、町民からも求められている制度であり次年度に向けて取りくむ考えがあるのか町長に伺いたい。</p>
<p>4 緑町団地の運営について (町長)</p>	<p>現在、11棟42戸の町営住宅がありますが、現在の入居者は、わずか7世帯が点在して住んでいる状況にあり、地域の中ではコミュニティが図られ、互いが助け合って暮らしております。しかし、殆どの入居者が高齢者であり、建物も老朽化し空き住宅が多いため非常に物騒で危険な状況にあります。</p> <p>(1) 空き住宅の部屋の確認は定期的に行われているのか、これまで空き住宅で事故の実態及び不審者の利用等がなかったのか伺いたい。</p> <p>(2) 町の計画では今後は新築しないとのことであるが、入居者の安全確保の観点からも入居者の集約を図り、不要な住宅を解体し更地にすべきと考えるが、町としてどのように考えているのか伺いたい。</p> <p>(3) 入居者の健康で安全な生活の確保のため空き住宅周辺の草刈及び除雪等の管理は適切に行われているのか伺いたい。</p>